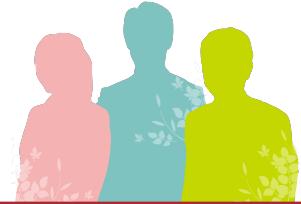




行政書士法人  
あゆみ

# Interview



Interview of

松本 亜由美

広島駅前オフィス代表

## 闘病をキッカケに向き合い始めた 「先に逝く者の思い」「残された家族の不安」

一まずは、行政書士になられたきっかけを教えて下さい。

私は、重症筋無力症という神経と筋肉の難病で寝たきりとなり、入退院を繰り返していました。自分1人では、食事を摂ること、お手洗いや歯磨き、着替えなど基本的な日常動作をすることもできない、ただ大学病院のベッドの上で毎日、寝ているだけの“生かされている”という状態でした。医師からも「一生、歩けるようにはならない」と言われていましたが、最先端治療を受けるなどの幸運が重なり、奇跡的に病気が快方に向かいました。

その闘病中に自分自身が実際に考え苦しんだ「家族への思い」や実際の入院生活で見聞きした「先に逝く者の思い」「残された家族の不安」など少しでも形にし、不安を和らげるお手伝いを何かできないだろうか?と考えるようになりました。

病気が快方に向かうにつれて、生かしてもらったこの身体を活かし、地域社会に貢献しなければ!と強く思い、行政書士資格を取得しました。

一個人事業主として開業され、なぜ、法人を設立されたのですか?

最初は個人事業主として、スタートしました。しかし、実際にお客様のお話を伺い、思いをくみ取り、具現化していく中で、私個人でお手伝いできることに限界を感じました。

相続手続きと一言で言っても、100人のお客様がいれば100通りのやり方があります。複雑で煩雑になりがちなものも多いのが現実です。私個人のマンパワーでなく、組織全体として多角的な面からお客様の思いをつなぎ、サポートするお手伝いができるのかと思うようになりました。その中で出会った同じ志を持った仲間とともに行政書士法人あゆみを設立いたしました。



時に立ち止まり、ともにあゆむ  
法人名に込めた願い

一法人名の“あゆみ”的由来は?

“歩(あゆみ)”という字は、「少し止まる」と書きます。みなさまに寄り添い、時には少し立ち止まりながら、1歩1歩ともにあゆんでいきたい。そんな思いを代表の森井と話し合い、法人名を“あゆみ”にしました。私の名前を平仮名にしたワケじゃないんですよ(笑)

一最後にメッセージをお願いします。

“自分の意志で、自分の足で歩き、行きたいところへ行くことができるという当たり前の毎日”に感謝し、みなさまのために全力で走り回っていきたいと思います。お困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。

一本日はお忙しい中、お時間をいただき、ありがとうございました。

女性ならではのきめ細やかなサポートを実践しています!というあゆみ先生。

難病を経験したからこそ分かる人の痛みや苦しみ。その経験を活かし、自分にしかできないことをやりたいという熱い思いを感じることができました。